

函館山から下山すると、雪が降るような状況は、なさそう。

この瞬き、タイミングを逃すのは勿体ない。お風呂は、就寝前でいいと、変更。

自由な無計画のひとり旅。出来る時に、出来ることを、即実践。

動くことで、寒さも解消される。早朝の旅立ちの疲れも、素敵な光景から元気をもらった。

北海道・道南。歴史の変革期の舞台、**国内初の国際貿易港**として栄えた函館。

西洋風の建築、異国情緒豊かな大好きな街の一つである。

今回はオフシーズン。以前訪ねた、**函館五稜郭**の藤棚の見事さと思い出が目に浮かぶ。

**赤煉瓦の倉庫街**、函館山の麓の**元町教会群**、お気に入りの場所である。

この機会を逃す手はない。寒さを忘れてフットワークよく、

元町教会群や赤煉瓦街を訪ねた。



自転車で来たのは失敗。しかし、大きな学び、その後、体験や知恵が、大いに役立った。

この時は、歩き中心だが、乗車すると、**雪解け水や、泥はねが背中まで、**  
いや、調子にのると、**頭のでっぺんまで**。ひとり旅、**背中が見えない**。要注意。  
寒冷地である。時間も含めて、乾燥さすのが大変だった。実体験からの**学び**や、初めて**気づく**  
ことが多い。その後、対策に知恵を絞ったのは、言うまでもない。

**オンザ、トラベルトレーニング**。初体験は、大変だが全力投球で対処。これが面白い。

傾斜の厳しい坂もあった。上り坂も下り坂も歩きにくいのは当然。

しかし、雪景色と、景観に、慰められた。

